

CSR(企業の社会的責任)への取組み

ろうきんは、働く人たちがお互いを助け合うという、あたたかな絆から生まれた協同組織の福祉金融機関です。ろうきんの基本姿勢や、社会的役割、暮らしに役立つ商品やサービスのすべてが、「相互扶助の精神」から成り立っています。

「人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与する」というくろうきんの理念のもと、これまで金融サービス、社会貢献、環境保全などに係るCSRへの取組みを進めてまいりました。

ろうきんが、福祉金融機関としての役割を果たし、会員・お客様・地域社会などから、あらゆる面で信頼される金融機関としてあり続けるため、CSR基本方針のもと、働く人の生活向上に向けた生活応援運動の展開や、福祉金融機関としての金融商品の開発・提供のほか、NPOへの支援や地域社会への貢献活動などに積極的に取り組んでまいります。

CSR基本方針

当金庫は、協同組織の福祉金融機関として誠実かつ公正な事業活動を行うとともに、会員、お客様、地域社会など、当金庫のステークホルダーとのコミュニケーションを重視し、相互理解のために積極的な情報開示を行います。

「相互扶助」の精神のもと、働く人たちの生活を守り、豊かにするため、時代の変化やニーズの多様化に対応した金融サービスを提供します。

働く人たちの暮らしや福祉の向上を目指し、関連団体と連携しながら、地域社会への貢献活動やNPO団体等への支援など、幅広い活動を展開します。

働く人たちが安心して生活できる社会を実現するため、環境への負荷軽減と、持続可能な地域社会づくりに寄与する活動を、継続的に取り組みます。

生活応援運動

1 はたらく人たちの暮らしを支える活動



**暮らしを守り、より豊かにするため、
生涯にわたって、いつもあなたのそばで
ともに歩んでいくパートナーでありたい。**

使命は「はたらく仲間たちの生活応援」。はたらく仲間からお預かりした資金は大切な共有財産として、住宅ローンやマイカー購入資金などさまざまなライフシーンに合わせた商品をご利用いただくことで、はたらく仲間のために役立てられています。

〈ろうきん〉はいつもそばで、はたらく仲間一人ひとりと向き合い、さまざまな商品やサービスで、生涯にわたって暮らしを応援していきます。

使 命

● はたらく人の財産形成

〈ろうきん〉は、はたらく人の財産形成を願い、「安心」・「安全」な預金商品を中心に「貯蓄の推奨」をご提案します。

● はたらく人の利便性や利用条件の向上

〈ろうきん〉は、はたらく人の利便性や利用条件の向上を願い、出来るだけ皆さまの負担を軽減したサービスをご提案します。

● はたらく人の生活向上

〈ろうきん〉は、はたらく人の生活向上を願い、ライフサイクルにあわせた融資商品を揃えて長く安心して利用できる金利設定でご提案します。

営利を目的としない金融機関〈ろうきん〉だからできること。

借りた後も返済しやすい仕組みです。

■返済計画を立てやすい金利設定

返済計画を立てやすく、安心して返済できるよう、〈ろうきん〉住宅ローンは全期間にわたって金利をできるだけ低く設定しています。

■返済方法の変更が可能

ご利用中のローンの返済金額を見直すこと（減額など）ができます。変更手数料は無料です。

■繰上げ返済手数料無料

ご利用中のローンの繰上げ返済手数料は無料です。返済金額・回数に制限はありません。

困った時のフォローもします。

■勤労者生活支援特別融資制度

勤務先の事情による離職・収入減少などでお困りの方を対象に、ご利用中の〈ろうきん〉ローンの返済金額・期間などの変更や、他行ローンの借換などのご融資を行う制度です。

■「技能者育成資金融資制度」・「求職者支援資金融資制度」（国と連携）

経済的な理由により職業訓練を受けることが困難な方や雇用保険を受給できない方に対して、職業訓練中の生活を維持するための生活費・就職活動費等をご融資する制度です。

■「離職者生活ローン」（新潟県と連携）

勤務先の事情により離職された方への生活支援融資制度です。

※詳しい制度内容等は窓口にお問い合わせください。

2 多重債務対策の取組み

●多重債務未然防止に向けた活動

多重債務を未然に防止するため、「多重債務に陥らないためには」・「まずは誰に相談すればよいのか」・「どのような方法で問題を解決できるのか」について、マネートラブル防止のための学習会を会員労働組合等で実施しています。2013年度は、延べ344回、合計9,042人にご参加いただきました。

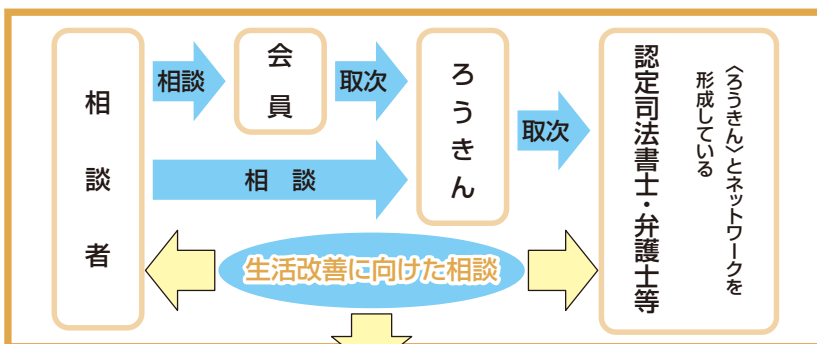
また、高等学校等の授業の一環として、クレジットの仕組み、悪質商法の手口やインターネット被害など、特にこれから社会に巣立っていく高校生にとって身近に起こりうるマネートラブルについて分かりやすく解説する、「マネートラブル防止講座」も実施しています。

さらに、多重債務未然防止活動にご理解いただいた自治体や、大学・短大・専門学校では、身近に起こりうるマネートラブルについて、イラストやマンガ等で構成された多重債務問題冊子「マネートラブルにかつ!」を関連団体と協力して配付し、金融トラブルに対する警鐘活動を推進していただきました。



●「初期相談～解決まで」のプロセスを確立

2007年6月に理事長を本部長とした「生活応援・多重債務対策本部」を設置し、各営業店に多重債務相談責任者を配置して、個別の相談に初期対応ができる体制を確立しました。また、お受けした相談については、全県下40名を超える認定司法書士・弁護士とネットワークを形成し、具体的解決へ導くことのできる体制を確立しています。



専門家の判断により①任意整理②特定調停③民事再生④自己破産のいずれかの方法で解決をはかります。任意整理の場合は、確定した債務を〈ろうきん〉の融資で一括肩代わりする方法や和解で分割返済する方法、または親族等の援助により一括返済する方法などがあります。

困ったときは、 まず相談

各営業店の窓口のほか、
下記の専用窓口にて
承っています。

多重債務相談ダイヤル
TEL 025-225-2000
受付時間 平日 9:00～17:00
(ただし、当金庫の休業日を除く)

お客様満足度向上に向けた取組み

当金庫は、すべての勤労者の方に安心してご利用いただける、良質な金融サービスを提供し続けるために、お客様からのご要望やニーズに的確にお応えする取組みをすすめています。

1 改善・対応した主な取組み

- ①リニューアルオープンしたろうきんローンプラザ新潟西では、個室の相談ブースでゆっくりとご相談いただけます。
- ②セブン銀行ATMでは、ろうきんキャッシュカードによる入出金・残高照会が24時間ご利用いただけます。（特定日は除きます。）
- ③ろうきん以外のATMでろうきんキャッシュカードをご利用の場合、ご利用時間に関係なく、お引出し手数料をご利用口座へ即時キャッシュバックしています。
- ④時間外での振込予約など、ATM振込機能を拡充しました。
- ⑤インターネットバンキングのサービスを拡充し、さらに便利にご利用いただけるようになりました。（詳しくは23頁をご覧ください。）

2 様々なローン相談会の実施

お客様のローン相談ニーズにきめ細かく対応するため、ローンプラザでの相談対応のほか、全店統一の休日ローン相談会を毎月開催しています。また、1人でも多くのお客様からご相談いただけるよう、地域事情にあわせた営業店独自相談会を開催しています。

なお、相談会の開催日は、当金庫ホームページでもご案内しています。

3 職員研修

お客様の期待に応える金融サービスを提供するため、各種研修や休日セミナーを実施し、職員の知識、接客能力の向上につとめています。

4 障がいがあるお客様に配慮した取組み

視覚に障がいがある方や自筆が困難な方でも、安心してご利用いただけるよう、サービスの拡充につとめています。

- ①視覚障がい者の窓口振込手数料をATM振込手数料と同額にしています。
- ②視覚障がい者誘導用ブロックを敷設し、ご来店いただきやすい環境を整えています。
- ③当金庫のATMは、全て視覚障がい者対応ATMです。
- ④当金庫職員による代筆・代読のお取扱いをしています。



視覚障がい者対応ATM

福祉金融機関としての金融商品の開発・提供

当金庫は、はたらく人のための福祉金融機関として、金融機能の側面から勤労者の生活を守り、応援するために、金融商品の開発・提供をすすめています。

1 福祉マイカーローン

身体障がい者用自動車・介護用自動車の購入費用や改造費用などを対象に、当金庫の一般ローンより低い金利でご利用いただけます。

2 福祉教育ローン

母子家庭・交通遺児家庭の方の教育資金を対象に、当金庫の一般ローンより低い金利でご利用いただけます。また、ご利用者は、仕送りのための「ろうきん定額自動送金サービス」ご利用手数料が無料となります。

3 福祉ローン

医療費、育児費用、介護費用、災害復旧に必要な費用および育児・介護休業期間中の生活費の補填資金にご利用いただけます。

4 日本学生支援機構奨学生に対する入学金融資制度

日本学生支援機構〈入学時特別増額貸与奨学金〉をご希望の皆さまに、増額奨学金交付までの間、入学時に必要な資金を、交付される増額奨学金の範囲内でご融資いたします。

東日本大震災等に係る取組み

2011年3月の東日本大震災および長野県北部地震により被害を受けられた方への支援に、引き続き取り組んでおります。

1 融資関連の特別対応

被災された方およびご親族の方への生活再建・災害復旧を支援する、「災害ローン」を取扱っております。（取扱期間は2016年3月31日まで）

また、当金庫の融資をご利用いただいているお客様からのご返済条件の変更についてのご相談を承っております。

2 振込手数料の免除

当金庫の窓口から、会員団体等が労働金庫本・支店（全国ろうきん含む）に開設した義援金受入口座へのお振込にかかる手数料はいただきません。なお、対象となる義援金受入口座については、当金庫本・支店にお問い合わせください。

地域・社会への貢献活動

当金庫は、地域・社会への貢献活動に取り組んでいます。

1 青少年スポーツ事業への支援

スポーツを通じた青少年の健全育成の一翼を担い、地域社会に貢献するため、「TeNYちびっこミニサッカーフェスタU-10」へ協賛しています。

2013年も多数のチームによる熱戦が繰り広げられました。



2 公益財団法人新潟県交通遺児基金への寄付

マイカーローン新規利用1件につき100円を、公益財団法人新潟県交通遺児基金に寄付しています。また、マイカーローンご利用の皆さまにも50円または100円のワンコイン寄付をよびかけています。

2013年度は、675,570円の寄付を行いました。

3 「懸賞品付定期預金(貯蓄大将)」による福祉団体等への寄付

対象定期預金のお預入れ10万円につき10円を当金庫が福祉団体等に寄付する「懸賞品付定期預金(貯蓄大将)」を多くのお客様からご利用いただきました。

2013年度は、福島子ども保養プロジェクトおよび新潟県内の児童養護施設5カ所に合計110万円の寄付を行いました。

4 社会福祉法人「新潟いのちの電話」への寄付

新潟いのちの電話は、1984年に始められたボランティアによる電話相談活動で、行政や民間の諸機関と連携して自殺予防に関する相談活動や啓発活動を実施しています。

当金庫は、同団体に対して毎年寄付を行っています。

5 「愛のかけ橋バザー&フェスタ」への協力

「愛のかけ橋バザー&フェスタ」は、新潟国際ボランティアセンターが実施する新潟発の国際協力活動です。

当金庫では、2013年に実施された同イベントに対し、日用品などを取りまとめ、バザー商品の提供を行いました。



6 ろうきんえくぼの会

ろうきんえくぼの会は、当金庫役職員の有志による任意団体であり、希望者が拠出した資金を取りまとめて、ボランティア団体・地域福祉施設等への寄付・支援等を行っています。

これまでに、あしなが育英会や公益財団法人新潟県交通遺児基金などに寄付を行ってきました。

7 その他

地元のサッカーチームや地域の文化芸術振興イベントなどへ協賛しているほか、営業地域における祭りなどにも参加し、地域の皆さまとの親密な関係づくりにつとめています。

環境への取組み

当金庫は、自然環境と共存しながら社会とともに発展することを目的に、環境負荷の低減につとめています。

1 ろうきん森の学校

労働金庫連合会の50周年記念事業として、豊かな森の再生、環境問題に取り組む人材育成を柱とした「ろうきん森の学校」が、2005年10月に全国3地区（福島地区・富士山地区・広島地区）で開校しました。

「ろうきん森の学校」は、日本の里山再生をテーマに労働金庫連合会が活動資金を支援し、NPO法人ホールアース研究所を主管団体として実施する森林環境教育事業です。

● ろうきん森の学校の特徴

- ①「森づくり」から、「人づくり・地域づくり」につなげる自然学校運動
- ②現地NPOが主導する「地域主体型」活動の定着
- ③支援団体関係者への体験プログラムを通じた「環境マインドの醸成」



2 金融エコ商品の取扱い

当金庫では、エコ住宅の新築・購入時およびエコ住宅へのリフォーム時に住宅ローンをご利用いただく場合、通常より低い金利で提供しています。

3 その他

冷暖房の適正温度設定やクールビズの実践、グリーン商品の購入など、省エネ・省資源につとめ、環境負荷軽減をはかっています。また「全国植樹祭2014にいがた」「にいがた緑の百年物語」への協賛のほか、「緑の募金」に賛同しています。

NPOへの支援

NPOは、行政や一般企業ではカバーできない福祉や環境、子どもの育成など、さまざまな分野で活動を行っています。当金庫では、新潟県内で活動するNPOを、金融面から支援しています。

1 NPO応援ローン

NPO応援ローンは、2012年度に〈ろうきん〉創立60周年記念事業の一環として、新潟県内のNPO法人の発展を目的に新設した融資制度です。

新潟NPO協会の「公益性審査委員会」において、NPO法人の活動内容について公益性・社会的意義等を確認後、〈ろうきん〉が融資申込みの審査を行います。

この連携により、NPO法人の資金需要に対し適切な相談を行うとともに、手続きを簡素化するなど、よりご利用しやすい制度づくりを目指しています。

2013年度は、6件2,710万円のご利用がありました。



■NPO応援ローンの制度内容

融 資 対 象	次のすべてを満たす特定非営利活動法人 ●任意団体期間を含め3年以上の活動経験があり、かつ法人格取得後最低1事業年度の決算が確定していること。 ●新潟県内に主たる事務所を有していること。 ●新潟NPO協会内の「公益性審査委員会」による公益性審査を経て、融資申込みの推薦を得たNPO法人。	ご融資期間	運転資金(短期)、つなぎ資金 ●分割払いは1年以内 ●一時払いは原則として3カ月以内、最長6カ月以内。但し、つなぎ資金は委託金・助成金の交付までとし、原則として1年以内となります。 設備資金(長期) ●5年以内(1年単位)
ご融資限度額	500万円 但し、つなぎ資金は2,000万円以内で交付金の範囲内。	ご返済方法	●元利均等毎月返済 ●期日一括返済(利息前払い方式)
お使いみち	●運転資金 ●設備資金 ●つなぎ資金 ※赤字補填資金、高利借換資金、取引先への融資資金、役員員の生活資金等は不可。 ※つなぎ資金は、国・地方公共団体から指定を受けた事業等で、委託金または助成金等により融資を精算できるものを対象とします。	融 資 金 利	融資金利は窓口にお問い合わせください。
		担 保	無担保
		保 証	個人連帯保証人1名以上(法人代表者を1名以上含む)

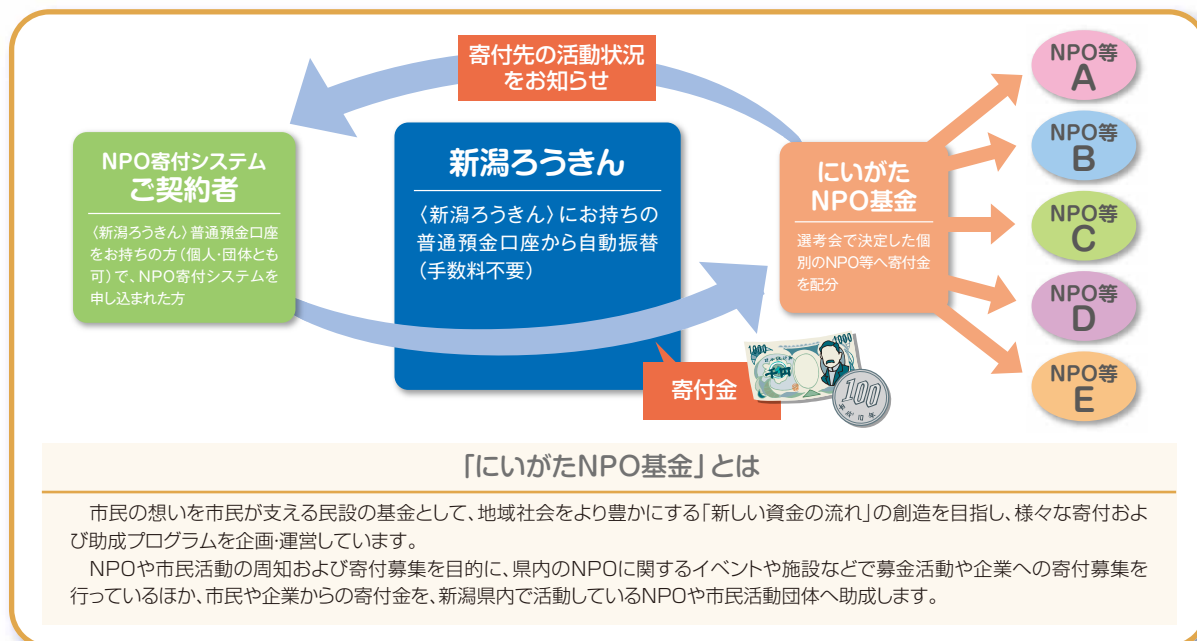
※上記、融資制度のほかに「NPO事業サポートローン」の取扱いをしています。

2 新潟ろうきんNPO寄付システム

～福祉金融機関〈ろうきん〉による地域循環型の寄付制度～

「新潟ろうきんNPO寄付システム」は、お客様の普通預金口座から定期的にNPO等への寄付金を自動振替する制度です。集まった寄付金は、「にいがたNPO基金」が管理し、事業の社会的意義、公益性、情報の公開性、会計の透明性などから、「にいがたNPO基金」が一定の評価基準で選考したNPO等へ配分されます。

寄付先のNPO等の活動状況等は、にいがたNPO基金ホームページなどでお知らせします。



ろうきん財団の活動

「一般財団法人新潟ろうきん福祉財団（略称：ろうきん財団）」は、1983年に、当時の高度経済成長に伴う勤労者ニーズの多様化や、労働金庫事業の範囲を超えたサービスへの期待の高まりを受け、ひろく県民の暮らしの向上と福祉の増進に役立つことを目的に、新潟ろうきんが創立30周年記念事業として設立した団体です。

これまで、「NPO等助成事業」「地域福祉団体等助成事業」「大学生奨学金貸与事業」「暮らしなんでも相談事業」「文化教養に関する事業」および「調査・研究事業」を行ってきましたが、2013年4月の一般財団法人への移行を機に、新たな公益目的事業である「高校生奨学金給付事業」「県民・勤労者の福祉向上に関する事業」および「自立した持続可能な地域社会創造事業」を加え、事業を展開しています。

また、2014年4月に、法人名称を「新潟県勤労者福祉厚生財団」から「新潟ろうきん福祉財団」に変更しました。

1 NPO等市民活動団体に対する助成事業

新潟ろうきんからの1億円の寄付金をもとに、NPOや市民活動団体等を支援し、これら団体の発展と県民福祉の向上を目的として、2003年度からNPO等市民活動団体に対する助成を開始しました。

これまでに、延べ205団体に総額9,952万6千円の助成を行いました。

また、融資を利用したNPO等に対し金利2%相当額を助成する「NPO等助成事業特別助成」は、6団体に総額15万8千円の特別助成を行いました。

■2013年度助成団体（16団体 合計904.4万円）

団 体 名	所在地	助成金額 (万円)
特定非営利活動法人 まちづくり学校	新 潟 市	100
特定非営利活動法人 エス・ネット	佐 渡 市	100
新潟ワイルドライフリサーチ	長 岡 市	89
ひゃくいちねん会	柏 崎 市	84
特定非営利活動法人 野外教育学修センター魚沼伝習館	魚 沼 市	82.6
フードバンクにいがた	新 潟 市	82.5
特定非営利活動法人 ボランティア亀田	新 潟 市	75
特定非営利活動法人 にいがた・オーティズム	新 潟 市	57
生物多様性保全ネットワーク新潟	新 潟 市	41.9
特定非営利活動法人 支援センターあんしん	十日町市	40
特定非営利活動法人 大杉の里	上 越 市	40
特定非営利活動法人 溪流再生フォーラム	新 潟 市	30
特定非営利活動法人 自立生活センター新発田	新発田市	26
りてらこや新潟	新 潟 市	23.6
特定非営利活動法人 子どもの虐待防止ネット・にいがた	長 岡 市	18.4
特定非営利活動法人 希望の会福祉会	長 岡 市	14.4



助成金によって作成したパンフレットと冊子
(まちづくり学校)



コミュニティカフェで提供するピザを焼く
石窯づくりの様子（ひゃくいちねん会）

2 地域福祉団体等への助成事業

2013年度は、県内26カ所の地域福祉団体へ総額250万円の助成を行いました。また、「新潟いのちの電話」に引き続き助成を実施したほか、新潟県労働者福祉協議会が行う「仕事や暮らしの緊急支援事業（新潟パーソナル・サポート・サービス事業）」に100万円の助成を行いました。

3 大学生奨学金貸与事業

本事業は、病気や交通事故などで親を亡くされた学生を支援することを目的に2003年度から行っています。2007年度からは、母子、父子家庭の学生へも募集対象を拡大し、ひろく県民学生の支援を行ってきました。

2013年度募集では、18名の方に奨学金を貸与しました。

4 高校生奨学金給付事業

本事業は、経済的な事情によりお子様の高等学校等への就学が困難な家庭を支援することで、お子様の就学と健全な育成をはかることを目的に、返還義務のない給付型の奨学金として2013年度から開始しました。

2013年度募集では、30名の方に奨学金を給付しました。

5 文化教養に関する事業

2013年度は、上越市で文化講演会を開催し、ご来場された方の入場料は、上越市社会福祉協議会に寄付を行いました。

開催日	開催地	会 場	演 題
11月12日	上 越 市	リージョンプラザ上越	社会風刺コント集団「ザ・ニューズペーパー」チャリティー講演会

6 県民・勤労者の福祉向上に関する事業

本事業は、県民の暮らしに関わる諸問題・課題を共有し、県民の福祉向上と安心・安全な暮らしづくりを目的として、県内の勤労者・労働者福祉団体・NPO・自治体関係者等が一堂に会して連携・交流する活動を展開することとしています。2013年度は、県内全域を対象とするフォーラムを中越地域で、各地域を対象とするセミナーを3カ所で開催しました。

●2013にいがたワーク・ライフフォーラムin長岡（中越地域）

“福祉はひとつ”を基本理念として、県内勤労者・労働者福祉団体・NPO等市民活動団体・地域の皆様など多数の方々から参加いただき、長岡市を会場に、10月18日～19日の2日間の日程で、第1回フォーラムを開催しました。「生活困窮者自立支援について」など16のセッション、全体交流会、NPO等市民活動団体への寄付イベントや、「夜回り先生」こと水谷修氏の記念講演などを開催し、労働団体とNPO等市民活動団体との交流をはかりました。



ワーク・ライフフォーラムin長岡



●2013 ワーク・ライフセミナー（新潟地域、下越地域、上越地域）

県内3地域において、地域住民の福祉向上と安心・安全な暮らしづくりを目的として、記念講演会、NPO等市民活動団体への寄付イベント、パネルディスカッション、NPO等市民活動団体や地元企業の視察等、地域の特色を生かしたセミナーを開催しました。



ワーク・ライフセミナーin新潟

7 自立した持続可能な地域社会創造事業

過疎・高齢化が進む中山間地域や離島において、地域の暮らしを支える多様な仕事をつくり、新たな雇用の創出や就労場所の確保を支援するため、2013年度から以下の事業を開始しました。

●地域社会創造助成事業

県内における自立した持続可能な地域社会の創造につながる事業・活動の発展および新たな事業の開始・定着を目的として、地域社会創造助成事業を実施しました。2013年度は、10団体に対し総額1,444万円の助成を行いました。

■2013年度助成団体

団 体 名	所在地	助成金額 (万円)
わかとち未来会議	小千谷市	200
荻ノ島地域協議会	柏 崎 市	200
特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター	村 上 市	200
特定非営利活動法人 かみえちご山里ファン倶楽部	上 越 市	200
佐渡地区農山漁村体験推進協議会	佐 渡 市	180
チームみんなの庭	南魚沼市	167
ものすき村	魚 沼 市	100
特定非営利活動法人 アースロア	湯 沢 町	80
結束集落	津 南 町	60
じろの会	糸魚川市	57



佐渡島内9地区のまち歩きツアーのパンフレット「さどんぼ」
(佐渡地区農山漁村体験推進協議会)



農園運営事業（アースロア）

●地域づくりセミナー開催事業

地域社会創造助成事業の助成団体を対象に、仕事づくりに関わる研修および団体間の交流により、地域づくりの推進をはかることを目的として、地域づくりセミナーを開催しました。2013年度は、中魚沼郡津南町結束にて、11月12日～13日の日程で、地域づくりの先進事例「荻ノ島再生プロジェクトの取組み」と題した講演および助成金交付団体による助成事業の中間報告等を行いました。

●地域づくりコーディネーター養成講座開催事業

自立した持続可能な地域社会を創造していくためには、人材育成が欠かせません。地域づくりの取組みや運営に関わる実践的なコーディネート技術を学ぶ機会を提供することを目的として、新潟県NPO・地域づくり支援センターに企画・運営を委託し、「第1回地域づくりコーディネーター養成講座」を開催しました。

●新潟県地域づくり巡回講座（にいがた旬塾）開催事業

地域づくりの現場で活かせる知識の習得と活動の裾野拡大、およびろうきん財団が行う「地域社会創造助成事業」の紹介を目的として、新潟県NPO・地域づくり支援センターに企画・運営を委託し、「新潟県地域づくり巡回講座2013（にいがた旬塾）」を県下5カ所で開催しました。

各会場では、「地域を楽しくする仕掛け術！」と題して、県内各地で地域づくりのプロデューサー・アドバイザーとして奔走している佐藤春夫氏から、豊富な事例とノウハウの紹介を交え、ご講演いただきました。

開催日	開催地	会 場
6月14日	三 条 市	燕三条地場産業振興センター リサーチコア
6月17日	佐 渡 市	佐渡トキ交流会館
6月20日	上 越 市	ユートピアくびき「希望館」
6月21日	新発田市	新発田市地域交流センター きやり館
6月25日	小千谷市	小千谷市総合産業会館「サンプラザ」



8 調査研究事業

県民勤労者の福祉向上に向けた調査研究事業として、1992年6月に続き、新潟県民の生活実態調査に着手しました。

また、2014年度は、「社会的企業の起業に関する調査・研究」「ソーシャルファイナンスに関する研究」および「高齢者福祉に関する調査・研究」について、各関係団体の協力を得ながら実施することとしています。

9 ライフプランセミナー等開催事業

●ライフプランセミナーの開催（佐渡地域、小千谷地域、柏崎地域、上越地域、県央地域）

生活等に関わる諸課題をテーマに掲げ、NPO等市民活動団体や自治体関係者等との協力・協調関係を築きながら、地域の期待に応える内容のセミナーを開催しました。

開催日	開催地域	講 演 内 容 等
10月22日	佐渡地域	佐渡の消費者相談
10月26日	小千谷地域	勤労者のための財テク？講座
11月27日	柏崎地域	生きるを支える
2月17日	上越地域	定年に備えるライフプラン
2月25日	県央地域	コミュニケーション作りについて



「勤労者のための財テク？講座」（小千谷地域）

●にいがた福祉リーダー塾の開講

「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会（労福協2020年ビジョン）」に示される社会の創造に挑戦する人材を育成するため、新潟県労働者福祉協議会の協力を得て、第1期（前期）プログラムを2月21日～22日に開催しました。

■第1期（前期）プログラム（講義のみ抜粋）

開催日	講 義 内 容	講 師
2月21日	第1講座 「歴史から学ぶ労働運動・労働者自主福祉運動の理念、課題」	中央労福協 前事務局長 高橋 均 氏
	第2講座 「これからの日本社会と協同組織事業団体に期待するところ」	早稲田大学 教授 田村正勝 氏
2月22日	第3講座 「連帯経済の担い手としての協同組合へ」	山口福祉文化大学 教授 高木郁朗 氏
	第4講座 「新潟県内のNPO活動の現状」	NPO法人くびき野NPOサポートセンター 事務局長 近藤尚仁 氏